

混合交通を観察する
DOCUMENT
series—170
Eye

●信号機のない交差点で自転車に乗る高齢者の安全確認状況を観察する
昼間の1時間に観察した自転車に乗る高齢者107名中
信号機のない交差点で一時停止したのは12名

●WHY

自転車に乗る高齢者は一時停止を行っていないか

平成15年の交通事故死者数は7702人と、昭和32年以来実に46年振りに80

00人を下回った。しかし、一方で、65歳以上の高齢者の占める割合が全体の40・36%(3109人)に達している。また、昨年の自転車乗車中の死者数は973人で、このうち609人(62・6%)は65歳以上の高齢者である。東京都内でも高齢者の住んでいる割合

が高い北区で、信号機のない交差点で高齢者と見える人が乗車している自転車の安全確認の状況を観察してみた。

●WATCHING

左右の安全確認をしたのは半分以下

観察場所はJR赤羽駅近くの商店街付近。観察は「止まれ」の標識がある交差点で、自転車乗車中の高齢者の「一時停止の状況」および「左右確認」について行なった。また、観察は日中の1時間と日没後の1時間の2回行なった。

昼間の時間帯に、観察した自転車乗車中の高齢者は107人。「止まれ」の標識がある交差点で一時停止を行なった高齢者は107人中わずか12人(11%)、そのすべてがクルマの接近によって仕方なく一時停止したように感じられた。



●高齢者の自転車の交差点一時停止状況(昼間)

	一時停止をした		一時停止をしなかった		小計
	男性	女性	男性	女性	
左右の安全を確認した	0	7	28	9	44
全く安全確認をしなかった	1	4	37	21	63
合計	1	11	65	30	107

- 観察場所/東京都北区赤羽南1丁目12付近
- 観察日/3月11日(木曜日)15日(月曜日)
- 天候/晴
- 観察時間/18:30~19:30(11日) 14:30~15:30(15日)
- 観察者/4名

●高齢者の自転車の交差点一時停止状況(夜間)

		一時停止をした		一時停止をしなかった		小計
		男性	女性	男性	女性	
左右の安全を確認した	点灯	0	0	4	3	7
	無灯火	0	0	1	0	1
全く安全確認をしなかった	点灯	0	0	6	4	10
	無灯火	0	0	5	6	11
合計		0	0	16	13	29

※高齢者(65歳以上)の判断は観察者の見解による



クルマが接近していないと一時停止しない自転車

「止まれ」の標識がある交差点で左右の安全確認を行っていたのは107人中44人。残りの63人はそのまま安全確認をせずに交差点を通過した。また、安全確認をした人でも左右をチラッと見るだけという例が多かった。

一時停止して歩行者の横断を優先させていたクルマの左後方から高齢者と見える女性の乗る自転車が接近、その自転車がクルマの脇を一時停止せずにすり抜けた時にクルマの車を横断中の歩行者と鉢合わせになって転倒寸前になった例も観察された。

全体として、携帯電話を使用しながら自転車に乗っていたり、フラついていいる高齢者はあまり見られなかったが、周囲を見ず進行方向だけを見たまに乗している例が目立った。

夜間の観察では、「一時停止の状況」「左右確認」とともにライトの点灯状況も観察した。観察の結果、夜間の自転車乗車中の高齢者は29人(男性16人・女性13人)。左右の安全確認を行っていたのは29人中8人。ライトの点灯は29人中17人

と6割がライトを点灯していた。この時間帯での交差点での一時停止は誰も行なっていないかった。

●PROPOSE

ドライバーは自転車の動きを予測した運転を

今回の観察では高齢者に限らず自転車の利用者のほとんどが、「止まれ」の標識があるにもかかわらず一時停止をしていなかった。高齢者は身体能力や判断力の低下のために危険への対応が遅れ、事故にあうケースも少なくない。「この場所はクルマがあまり通らない」という思い込みが事故につながるの、一時停止と左右確認の習慣をつけてほしい。

一方、ドライバーは自分が優先道路を走行中でも、交差点に接近する自転車を見かけたら、自転車は一時停止の標識があっても交差点に進入して行くことを予測しておく必要がある。高齢者は、ホーン(クラクション)などに驚いて転倒してしまうこともある。高齢者に対する思いやりのある運転で、ドライバーの側から積極的に安全を確保していきたいものである。



夜間は黒っぽい服装の高齢者が多かった

「お知らせ」
ホンダ安全運転普及本部
本部長に土橋哲が就任
ホンダ安全運転普及本部の部長に4月1日付で、土橋哲が就任いたしました。安全で快適な交通社会づくりに向けて、活躍が期待されます。
前任者同様、今後ともよろしく
お願い申し上げます。

SJ編集部では今後の紙面づくりの参考にさせていただくため、日頃よりご愛読いただいている読者のみなさまのご意見・ご感想をお待ちしております。今月号へのご意見・ご感想は右記のメールアドレスへ。 sj-mail@ast-creative.co.jp
※弊紙に対するご要望や個別のご質問には回答できかねる場合がございます。あらかじめご了承ください。

SJ Mail

ご愛読者の皆様へ
今月号に対するご意見・ご感想をお寄せください!